

令和2年度 活動記録

事業所緑化

川崎市みどりの事業所推進協議会



日油株式会社 川崎事業所

令和2年度川崎市環境功労者表彰受賞事業所

市民150万本植樹運動

市民100万本植樹達成記念及び市民150万本植樹運動植樹祭
令和2年10月17日(土)開催

川崎市は、平成22(2010)年度から、令和6(2024)年の市制100周年に向けて、市民・事業者と協働して市内に100万本の植樹を進める「市民100万本植樹運動」を推進しており、令和元年12月に植樹本数が100万本に到達しました。今後も令和6年に向け、引き続き150万本の植樹を目指すこととしています。

「川崎市みどりの事業所推進協議会」は、この事業に協賛しており、各事業所敷地内への植樹や、植樹祭への支援、社員の参加などの協力をしています。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により延期となっていた100万本達成を記念する植樹祭と併せ、幸区の夢見ヶ崎公園で植樹祭が開催されました。式典には、川崎市みどりの事業所推進協議会を代表して会長事業所が出席しました。

当日は、約80名の市民・関係者が参加し、八重桜、オオムラサキツツジ、タマアジサイの苗木の植樹が行われました。



目次

| | | | |
|---------------------------|------------------------------------|-------|---|
| 会長あいさつ | 三菱ふそうトラック・バス株式会社 生産本部 生産・計画統括部長 | 馬場 高史 | 1 |
| 市長あいさつ | 川崎市長 | 福田 紀彦 | 2 |
| 事業所の取組 | | | |
| | 日油株式会社 川崎事業所 | | 3 |
| | 富士通株式会社 川崎工場 | | 4 |
| 川崎市みどりの事業所推進協議会の活動（令和2年度） | | | 5 |
| 幹事会の記録（令和2年度） | | | 7 |
| 川崎市からのお知らせ | | | 8 |





カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現をめざして

川崎市みどりの事業所推進協議会

会長 馬場 高史

(三菱ふそうトラック・バス株式会社 生産本部生産・計画統括部長)

平素より、「川崎市みどりの事業所推進協議会」の活動に御理解、御協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

気候変動対策は最も重要な社会的課題の1つですが、我が国の評判はNGOから化石賞を受賞するなどあまり芳しいものではありませんでした。しかしながら昨年10月26日に菅首相が所信表明演説で述べた「2050年までにカーボンニュートラルの達成を目指す」旨の宣言をうけ、我が国の状況も大きな変動が求められ、既に2050年のカーボンニュートラル達成に向けたチャレンジを表明した企業も出始めています。

カーボンニュートラルの達成のためにはCO₂排出量の削減はもとより、森林・緑地によるCO₂吸収・固定化量の増大も大きな役割を果たすと考えられています。「川崎市みどりの事業所推進協議会」の活動も、みどりによるCO₂吸収の促進に加えて、緑化を通じた緑豊かなまちづくりに大きな役割を果たすことができると考えています。

「川崎市みどりの事業所推進協議会」は、昭和47年に「川崎市工場緑化推進協議会」として設置され、平成17年には、より広範囲の事業所への協働参加を目指し「川崎市みどりの事業所推進協議会」と名称を改めて現在に至っています。川崎市と事業所の官民が一体になり、協働で緑化活動と緑化意識の向上に取り組んでいます。緑化協定締結事業所の緑化率は、発足当時3.6パーセントでしたが、現在では10パーセントを超え、緑化地の面積は約149ヘクタールを確保しています。

また、川崎市が進められている活動のひとつに「市民150万本植樹運動」があります。これは市制100周年（令和6年度）時に目標としていた「市民100万本植樹運動」が前倒しで達成したため、さらに植樹本数を増やして150万本を目標としたものです。当協議会としても、引き続き市と連携して様々な活動に参加していくとともに、緑地の増加と保全を通して、より良いまちづくりに協力してまいります。

最後になりましたが、「最幸のまち かわさき」を目指し、緑豊かな地域づくりの推進に皆様とともに取り組んでまいりたいと考えます。関係各位のご指導、ご支援をよろしくお願い申し上げます。



「最幸のまち かわさき」をめざして

川崎市長 福田 紀彦

「川崎市みどりの事業所推進協議会」の加盟事業所の皆様におかれましては、ますます御清祥のこととお喜び申し上げます。

また、平素より市政に対し御理解、御協力をいただきますとともに、本市の発展に多大なる御支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、新型コロナウイルス感染症への対応に取り組む中、市民の生命と地域経済を守る行政の役割の重さについて、改めて強く認識した一年となりました。

事業者の皆様におかれましては、現在に至るまで、感染拡大の防止と社会活動の維持につきまして、多大な御協力をいただいております、ここに改めて感謝を申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染症終息後の考え方として、代替エネルギーの開発や温室効果ガスの排出抑制など環境保護につながる分野への投資を増やし、経済復興と脱炭素社会への移行を両立させようというグリーン・リカバリーが広まりつつあります。

本市では、地球規模の気候変動が進む中、世界的に温室効果ガス削減に向けた取組が急速に進んでいる状況を踏まえ、脱炭素社会の実現に向けた具体的な取組を進めていくため、300を超える事業者・団体等の皆様の御賛同のもと、2050年までのCO₂排出実質ゼロに向けた脱炭素戦略「かわさきカーボンゼロチャレンジ2050」を、昨年からスタートいたしました。

また、市民生活を豊かにする環境づくりに向け、市民や事業者の皆様と協働しながら、環境先進都市として本市がこれまでに培った技術を活かした持続可能なまちづくりを進めており、緑と水の豊かな環境をつくりだす取組として、「市民150万本植樹運動」の推進のほか、「Green For All!」をコンセプトに、「みどりのムーブメント」を推進し、地域愛を持った市民が次の100年に向けて川崎らしくより豊かな環境をつなぐために、市制100周年の節目となる令和6年度の「全国都市緑化かわさきフェア」開催に向けた基本計画の策定などの取組を進めております。

市民の皆様のご貴重な財産である緑や水などの自然環境を守り、次世代へ継承していくため、今後も引き続き、皆様の事業所の緑化を推進していただくとともに、本市の緑化行政に御理解・御協力を賜りますようお願い申し上げます。

◎事業所紹介

- 1961年 日本油脂（株）（現日油）千鳥工場として竣工し、化学品の生産開始
- 2003年 川崎事業所発足
- 2004年 食品工場（大師工場）竣工
- 2005年 医薬品原料工場（DDS工場）竣工
- 2014年 ライフサイエンス研究所移転



所在地

川崎市川崎区千鳥町3-3

敷地面積：約60,000m²

従業員数：約400名（2021年2月現在）

主な生産品目：ポリアルキレングリコール誘導体、食用加工油脂、健康食品素材、医薬品原料



◎緑化の取組

環境や景観の向上に向けた緑地化を目指し、屋上緑化、事業所敷地周辺緑化、グリーンカーテン等を通じ、緑の保全、維持管理に努めています。

これらの活動が緑の保全及び緑化推進への尽力、地域環境の向上への貢献にあたりと評価され、「令和2年度川崎市環境功労者」として表彰されました。



屋上緑化



グリーンカーテン



敷地周辺緑化

◎CSR活動

日油グループの事業活動が、地球環境や地域社会に影響を与えることを認識し、「組織統治」「個の尊重」「RC活動」「社会との共生」をCSRの基盤として、事業活動を行ってまいります。川崎事業所では、全社方針に基づいて、重点実施項目を設定し、具体的な活動を実践しています。令和2年9月11日付で、高圧ガスによる災害防止に関して、著しい成果を収めた優良事業所に対して贈られる右記の賞の表彰を受けました。



高圧ガス保安関東東北産業
保安監督部長表彰

◎事業所紹介

- 所在地 : 川崎市中原区上小田中 4-1-1
 - 開設 : 1938 年 (昭和 13 年) 10 月
 - 敷地面積 : 154,499 m²
 - 緑化面積 : 41,439 m² (※)
 - 緑化率 : 26.8% (※)
- ※川崎市緑の保全及び緑化の推進に関する条例に基づく
(2020 年 9 月現在)
- 事業内容 : システム・製品に関わる全ての研究、開発、各生産拠点工場の連携・統合業務



川崎工場と周辺地域

◎緑化の取り組み

川崎工場は、地域環境との調和をコンセプトとした「池と前庭のある公園式工場」として誕生し、現在もその意志を継承することで、都市化が進む地域の中にあって多摩川や川崎市等々力緑地と連携した地域全体の貴重な緑地空間となっています。

また、川崎市内における広域的な生態系ネットワークの構築に貢献するため、多摩丘陵の一角を成している「栗木山王山特別緑地保全地区」(川崎市麻生区)の緑地保全活動にも取り組んでいます。



開設当時の川崎工場

『川崎工場の緑地』

川崎市内で最大級の樹齢 200 年以上のクスノキの大木をはじめ、歴史を刻んだ古い樹木、野鳥や水生生物などの多種多様な生物が生息しています。

その緑豊かな庭と池を適正に管理し、保有していくことで、多摩川や等々力緑地と連携した地域全体の緑地空間としての重要な役割を担っています。



クスノキの大木



生息生物

『栗木山王山特別緑地保全地区緑地保全活動』(かわさき里山コラボ)

川崎市が保有する「栗木山王山特別緑地保全地区」において 2012 年度から緑地保全活動を開始しています。特定の緑地について計画の段階から行政と企業が協働し、企業の持つ独自技術 (ICT) やマンパワーを緑地保全活動に活用するという川崎市では初めての取り組みとなっています。

雑木林内に侵入した竹の伐採、下草刈り等を実施するとともに、弊社が独自開発した ICT を活用した生物調査等にも取り組み、良好な里山への再生を目指します。



緑地保全活動



植樹作業



独自 ICT を活用した生物調査

川崎市みどりの事業所推進協議会の活動(令和2年度)

第48回定期総会

新型コロナウイルス感染症感染拡大による緊急事態宣言の発出を受けて、書面による開催となり、各議案について、全会一致をもって可決されました。講演会及び懇親会については、残念ながら中止となりました。

10月30日(金)

川崎市環境功労者表彰式

表彰事業所 日油株式会社 川崎事業所
部 門 緑の保全及び緑化の推進
場 所 産業振興会館ホール

◎事業所紹介

昭和47年に川崎市と工場緑化協定を締結した当初は、0.87%の緑化面積でしたが、「環境や景観の向上に向けた緑地化」を目指し、平成20年に「川崎市みどりの事業所推進協議会の工場敷地の緑化努力目標である10%を突破しました。

その後も社員の緑化意識の高揚と、環境や景観などの向上を踏まえた緑化に努められています。



10月(都市緑化月間)

緑化啓発グッズ配付

配付植物 「サクラ(苗木)」又は「パキラ」※選択制

【パキラ(観葉植物)】

原産地 中南米

特徴 熱帯地域を原産地とする常緑性の植物で、日陰でも育ちます。寒さには弱いですが、耐暑性が強く、育てやすい植物です。



パキラ

11月20日（金）

施設見学会・講習会



例年、緑化に対する意識の高揚や緑化推進への動機付けを図ることを目的とした施設見学会と、花や緑に親しむことを目的とした講習会を開催していますが、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、例年どおりの実施が困難であることから、市の指定管理施設である、川崎市緑化センターにおいて、施設見学会及び講習会を実施しました。

訪問場所 川崎市緑化センター

参加者 4事業所 4名

施設内の見学

職員の案内により、園内の樹木や花を見学しました。品種の特徴や育て方などの説明を受けました。



寄せ植え講習

クリスマス用の寄せ植え講習を実施しました。



少人数での実施となりましたが、参加された事業所の方からは、「イベントの開催は難しい状況であるが、可能であれば続けてほしい」との声がありました。

参加が難しい事業所も多くいらっしゃったため、欠席の事業所の中で希望のあった13事業所に、事業所内で実施可能な正月用の寄せ植えセットを配送しました。



3月

広報活動

機関紙 「事業所緑化《令和2年度活動記録》」

発行年月 令和3年3月

発行部数 150部

配布先 会員事業所ほか



幹事会の記録(令和2年度)

本年度の幹事会は、新型コロナウイルス感染症対策として、オンライン会議を併用して開催しました。

第1回幹事会

令和2年8月7日(金)
ミュージア川崎シンフォニーホール研修室2

- 1 令和2年度事業計画に基づく年間スケジュールについて
- 2 都市緑化月間(10月)における緑化啓発グッズの配付について
- 3 (公財)かながわトラストみどり財団緑の募金への協力について
- 4 第2回幹事会の日程について

第2回幹事会

令和2年9月10日(木)
ミュージア川崎シンフォニーホール会議室2

- 1 令和2年度施設見学会の開催について
- 2 令和2年度講習会の開催について
- 3 市民100万本植樹達成記念及び市民150万本植樹運動植樹祭への協力について
- 4 第3回幹事会の日程について

第3回幹事会

令和3年2月1日(月)
ミュージア川崎シンフォニーホール会議室3

- 1 第49回定期総会の開催について
- 2 令和3年度事業計画(案)について
- 3 令和2年度機関紙「事業所緑化」の作成について
- 4 令和2年度施設見学会・講習会実施報告について
- 5 令和2年度予算執行状況報告について
- 6 第4回幹事会の日程について

第4回幹事会

令和3年3月19日(金)
ミュージア川崎シンフォニーホール会議室3

- 1 第49回定期総会の開催について
- 2 第49回定期総会に付する議案書(案)について
- 3 令和2年度機関紙「事業所緑化」の作成について

川崎市からのお知らせ

企業等と連携した新たな緑地保全施策「かわさき里山コラボ」

身近な里山は、癒しの空間であるだけでなく、生き物の生息生育機能、二酸化炭素の吸収源、緑のダムとしての機能など、我々の生活に欠かすことのできないものです。

あまり知られていないかもしれませんが、実は川崎市にも多くの里山が残されておりま

す。現在、下表のとおり保全管理活動に関する協定等を締結し、年2～3回、竹伐採やササ刈りなどの保全管理活動を行っています。回数を追うごとに、綺麗になっていく里山を実感していただいています。今後も実施箇所を増やしていきたいと考えておりますので、御興味のある事業所の皆様はぜひ事務局までお声掛けをお願いします！！

| 保全管理活動地区 | 締結先企業等 |
|---------------------------------|--------------------|
| 栗木山王山特別緑地保全地区 (麻生区栗木:2.0ha) | 富士通株式会社川崎工場 |
| 久末東特別緑地保全地区 (高津区久末:0.8ha) | NECプラットフォームズ株式会社ほか |
| 王禅寺東特別緑地保全地区 (麻生区王禅寺東:0.9ha) | 川崎信用金庫 |
| 岡上丸山特別緑地保全地区 (麻生区岡上:1.3ha) | 岡上小学校及び和光大学 |
| 久末イノ木特別緑地保全地区 (高津区久末:0.9ha) | 日本ロレアル株式会社 |



保全管理活動の様子

屋上緑化・壁面緑化助成事業

屋上緑化

- 1 助成基準 樹木、芝等により、建築物の屋上を3㎡以上緑化するもの
- 2 助成対象経費 植物及び植物基盤材（土壌等）の購入経費、防水、灌水、排水設備の設備費等
- 3 助成金額 要した費用の2分の1に相当する金額
ただし、1㎡あたり1万円、1件あたり100万円を限度。

壁面緑化

- 1 助成基準 つる性植物等により、建築物の壁面を幅5m以上、又は面積3㎡以上緑化するもの（ゴーヤなどの一年草は対象外）
- 2 助成対象経費 つる性植物等、支え材等資材の購入経費
- 3 助成金額 要した費用の2分の1に相当する金額
ただし、1㎡または1mあたり1万円、1件あたり50万円を限度

※工事開始後の申請は対象外です。詳細は事務局までお問い合わせください。



公共のみどり助成制度

不特定多数の人々の目に触れ、地域の景観形成に寄与している事業所の緑化地などを「公共のみどり」として認定し、その維持管理・樹木の保存等に要する経費の一部を助成する事業です。

助成額は、基本助成額（緑化面積に応じて2万円～5万円）+30円/㎡です。制度の詳細につきましては、事務局までお問い合わせください。



令和元年度事業所緑化データ

協定締結事業所 63事業所 緑化率 10.8%（昭和47年発足時3.6%）
緑化面積 149.1ha



緑化率10%以上達成事業所

| | |
|------|-------|
| 10%台 | 23事業所 |
| 20%台 | 11事業所 |
| 30%台 | 4事業所 |

編集後記



夢見ヶ崎公園での植樹祭



植樹祭にて参加者に配布した花苗等

令和2年度も植樹祭をはじめとする、市の緑化事業に御協力いただきありがとうございました。今年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受けて延期となった市民100万本植樹運動の達成を記念する植樹祭も併せての開催となりました。毎年みどりの事業所推進協議会からの御寄附により、お土産用の花苗・苗木等を配布させていただいておりますが、お渡しする際に参加者の方々の笑顔を見ることができ、不安な日々が続く中でも、緑は癒しを与えるものだ改めて感じました。御協力いただきました事業所の皆様に、この場をお借りしてお礼を申し上げます。

本年度は協議会の活動も縮小せざるを得ませんでしたが、今後も活動内容の検討・充実に努めてまいりますので、運営に御協力を賜りますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

発行日 令和3年3月

発行 川崎市みどりの事業所推進協議会

(川崎市建設緑政局緑政部みどりの協働推進課内)

電話 044-200-2380

川崎市緑化基金

川崎市内の「緑」を守り・育て・増やすために
基金への御協力をお願いします！

- 緑地保全の奨励
- 保全緑地の管理計画づくり



- 市民緑化運動の推進
(市民植樹運動や、思い出記念樹配布)



皆様からいただいた寄附金は
基金として活用し、
民有地を含む都市緑化に
役立てられています。

みなさまの御協力を
お願いします。

- 緑の活動団体助成
- 生垣づくり助成
- 駐車場緑化助成



- 屋上・壁面緑化の助成
- 緑のカーテン



基金への寄附と 税の控除について

法人の場合

確定申告によって、寄附された金額を
法人税法(第37条)の規定により、
損金参入することができます。

お問合せ

川崎市 建設緑政局
みどりの協働推進課

電話(044)200-2380 FAX(044)200-3973

(公財)川崎市公園緑地協会
(各種助成などの手続)

電話(044)711-6631 FAX(044)722-8410

富士通株式会社 川崎工場

